

PRESS RELEASE



平成27年2月27日
株式会社マネースクウェアHD
【東証第一部：8728】

株式会社マネースクウェアHD（本社：東京都港区、代表取締役社長：相葉斉、以下「当社」）の子会社であるFX事業会社、株式会社マネースクウェア・ジャパンは、円安基調に湧いた2014年の1年間に「FXで儲かった人の成績はいったいどれほどだったのか」というお客様の率直なご意見にお応えすべく、すべてのお取引データを独自に集計し、項目ごとにランキングして表彰する「M2J FXアワード2015」（以下「当コンテンツ」）をリリースいたしますので、お知らせいたします。

なお、当プレスリリースを以下のとおり添付しております。

記

- ・株式会社マネースクウェア・ジャパン プレスリリース
「2014年、FXで儲かった人の成績はいったいどれほどだったのか。
円安基調で輝きを放った“ツワモノたち”を表彰！『M2J FXアワード2015』 リリース」

以上

- | |
|--|
| <p>■ 本件に関するお問合せ先
㈱マネースクウェアHD 広報/IR チーム：北澤、田実
Tel：03-3470-5077（代表） E-mail：ir@m2hd.co.jp</p> <p>■ サービス内容等に関するお問合せ先
㈱マネースクウェア・ジャパン カスタマーデスク Tel：0120-455-512</p> |
|--|

2014年、FXで儲かった人の成績はいったいどれほどだったのか。

円安基調で輝きを放った“ツワモノたち”を表彰！ 『M2J FX アワード 2015』リリース

株式会社マネースクウェアHD（本社：東京都港区、代表取締役社長：相葉齊、以下「M2HD」）の子会社であるFX事業会社、株式会社マネースクウェア・ジャパン（以下「当社」）は、円安基調に湧いた2014年の1年間に「FXで儲かった人の成績はいったいどれほどだったのか」というお客様の率直なご意見にお応えすべく、すべてのお取引データを独自に集計し、項目ごとにランキングして表彰する「M2J FX アワード2015」（以下「当コンテンツ」）をリリースいたしますので、お知らせいたします。

記



- 公開予定日：平成27年2月27日(金)
- URL：http://www.m2j.co.jp/landing/fxaward_2015/

■ 概要：「M2J FX アワード 2015」とは

当社は、2013年、2014年と2年連続で6割強のお客様が利益を上げられたという結果が得られております。その中で、「最も利益を上げられた方は、どのくらいの金額を儲けたのか」、「元本比で最も利益率が高かった方は、約何パーセントだったのか」、「通貨別でのパフォーマンスはどうだったのか」などをランキング形式でお伝えするWEBコンテンツ、それが「M2J FX アワード 2015」です。

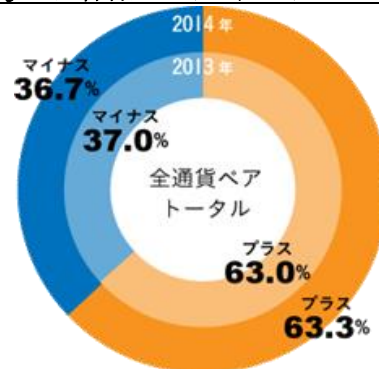
■ 利益金額部門、トップは驚異の1億円超え！

今回、利益金額部門でトップとなった方の利益金額は1億円を超える結果となりました。（前年のM2J FX アワード2014でトップだった方の利益金額は約8,220万円）

当社は創業時より資産運用としてのFXを提唱しており、これからもその姿勢を貫く所存でございます。

今後とも当社M2Jに引き続きのご愛顧をいただきますよう、よろしくお申し上げます

2013年、2014年における
M2Jのお客様のプラス/マイナス比率



※1年間トータルの損益合計から年末時点の評価損益を足し算して、その数値が1以上であれば「プラス」、-1以下であれば「マイナス」というもの

・円安基調に湧いた 2014 年の外国為替市場

2014 年は 8 月まで、例年と比較して動意に乏しく、方向感に欠ける小動きな展開を続けました。米ドル/円は概ね 100～105 円の範囲で上下を長く継続したことで、当社のトラリピ戦略が功を奏する値動きとなりました。

その後は 105 円を超えてゆるやかな円安基調を見せましたが、10 月 31 日に日銀が突如 80 兆円規模となる追加の金融緩和政策を発表するとその流れは一気に加速、約 1 ヶ月後の 12 月 4 日には米ドル/円で実に約 7 年ぶりとなる 120 円を超え、最高値では 121 台円まで上昇する活況となりました。



そのような市場模様の中、当社M2Jでは 2013 年に引き続き **6 割強**のお客様が利益を上げられたという結果が確認されています。

今回、利益金額金額部門でトップとなった方の利益金額は **1 億円**を超える結果となり、その半分以上を 10 月以降に記録していることから、いかに 10 月(の日銀の追加金融緩和)以降の活況がすさまじいものであったかを振り返ることができます。

当コンテンツはFXにおける取引結果の一例として、さらにはお客様の「知りたい」というご要望に応え、引き続きリスク管理にご注意いただき、その上で、お客様の今後の運用力向上の一助になるコンテンツとしてご提供しております。

■ 株式会社マネースクウェアHD

当社グループは、純粋持株会社である株式会社マネースクウェアHD、その傘下に、主に外国為替証拠金取引業を営む株式会社マネースクウェア・ジャパン、第二種金融商品取引業等を営む株式会社M2・インベストメント・アドバイザー、そして、海外子会社である MONEY SQUARE INTERNATIONAL, INC.から構成される企業集団です。常にお客様の視点に立ち「マネーゲームではない、お客様にとって最適な資産運用」の実現を目指し、他社とは一線を画したビジネスモデルを貫き続けています。

U R L : <http://www.m2hd.co.jp/>

会社名 : 株式会社マネースクウェアHD (MONEY SQUARE HOLDINGS, INC.)

本社 : 東京都港区赤坂 9 丁目 7 番 1 号 ミッドタウン・タワー TEL(03)3470-5077 FAX(03)3470-5053

代表者 : 代表取締役社長 相葉 斉

設立 : 平成 14 年 10 月 10 日

資本金 : 1,224,005 千円 (平成 26 年 10 月 1 日現在)

事業概要 : グループ会社株式保有によるグループ経営企画・管理、子会社の管理業務受託等

■ 株式会社マネースクウェア・ジャパン

平成 14 年の創業以来、「挑戦と規律」という企業理念の下、FX 業界大手として外国為替証拠金取引（FX 取引）における革新的なサービスを提供しています。一定間隔で一定金額の新規注文を同時に複数発注する「トラップトレード®」注文（平成 18 年 6 月より、特許取得済み）、イフダン注文の新規と決済の注文を自動的に繰り返し発注する「リピートイフダン®」注文（平成 19 年 7 月より、特許取得済み）、また、それらの複合注文である「トラップリピートイフダン®」注文（平成 19 年 12 月より、特許取得済み）、や「ダブルリピートイフダン®」注文（平成 23 年 11 月より、特許取得済み）など、当社独自の多機能な発注管理機能を取り揃え、お客様に「マネーゲームではない資産運用としての外国為替証拠金取引（FX 取引）」を提供しております。

URL : <http://www.m2j.co.jp/>

会社名 : 株式会社マネースクウェア・ジャパン (MONEY SQUARE JAPAN, INC.)

本社 : 東京都港区赤坂 9 丁目 7 番 1 号 ミッドタウン・タワー TEL(03)3470-5050 FAX(03)3470-5053

代表者 : 代表取締役社長 相葉 斉

設立 : 平成 26 年 5 月 20 日

資本金 : 1,700,000 千円 (平成 26 年 10 月 1 日現在)

事業概要 : 第一種金融商品取引業 (主に外国為替証拠金取引(FX 取引)業)

発注管理機能である「トラップトレード®」「リピートイフダン®」「トラップリピートイフダン®」「ダブルリピートイフダン®」は取引の利益を保証するものではありません。投資判断はお客様ご自身でなさって頂きますようお願いいたします。

同一通貨ペアで複数の「ダブルリピートイフダン®」を入れる、またはすでにポジションを持っている通貨ペアで新たに「ダブルリピートイフダン®」を注文すると両建て取引となることがありますのでご注意ください。

株式会社マネースクウェア・ジャパン

金融商品取引業 関東財務局長(金商) 第 2797 号 (加入協会)一般社団法人金融先物取引業協会

<お取引に関する注意事項>

- 取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解頂いた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。当社の外国為替証拠金取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金でお取引を行うため、多額の利益となることもありますが、通貨価格の変動や金利動向の変化により預託した資金以上の損失が生じる可能性があります。また、外貨事情の急変、外国為替市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により外国為替取引が不能となる可能性があります。
- 取引手数料は価格上乘せ方式で、新規および決済取引のそれぞれに必要となります。手数料額は 1,000 通貨単位当たり 10~100 円 (対ドル通貨は 0.1~1 ドル) で、通貨ペアおよび諸条件により異なります。
- 当社が提示するレートには、買値と売値に差 (スプレッド) があります。流動性が低くなる場合や、天変地異、戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がる場合があります。
- 取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合取引総代金の 4%、法人のお客様の場合取引総代金の 2% となります。

以上